

JA全農えひめ情報

あひんど

■特集

「JA総物流」の取り組み

■JA直売所めぐり

総集編 ～東予Ⅱ～

12

2013・December



▶豊多摩幼稚園（東京都新宿区）では、JA全農えひめの職員も参加。園児約70人に美味しさ・楽しさをPR。



はじめての みかんむき

（東京・大阪）

JA全農えひめは、愛媛みかんの消費拡大活動の一環として、毎年、東京と大阪の幼稚園児約2万人を対象に、食育活動「はじめてのみかんむき」を実施しています。

幼稚園で行われるランチタイムや園内行事の際に自分でみかんをむいて食べてもらうという取り組みは、幼稚園・保護者等からも「子どもたちには貴重な体験になった」と好評で、今年で11年目を迎えました。

園児にみかんをむく楽しさや旬の愛媛みかんの美味しさを感じてもらい、幼い頃からみかんを食べる習慣を身につけてもらうことが主眼ですが、第2の脳とも呼ばれる指先を活用する「情操教育」にもつながる取り組みです。

今年も、愛媛みかんの出荷最盛期にあわせ、11月19日から、希望幼稚園の中から抽選で73園（東京54園、大阪19園）の園児ら2万1,188人にみかんや図鑑風のリーフレットを配布。リーフレット等を配布することにより、保護者の皆さんに対しても、機能的健康情報の提供や幼稚園児の健やかな発育には果物が重要な役割を果たすことをアピールしました。



めぐり〜ど

December 2013

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



外は寒くても、家の中は鍋料理やお風呂の湯気が立ちのぼり、みんな笑顔でぬくぬく、あたたかいわが家です。冬至の日にはユズ湯でゆっくり、ゆったり、リラックス。先人の知恵をいただき、カボチャを食べてビタミン補給し、体力、気力、運氣もアップ！ 寒い冬に負けないで！ もういくつか寝るとお正月です。

●表紙：冬至
はら ふみ(イラストレーター)

※「めぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつなげる (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.156

はじめてのみかんむき
(東京・大阪)

2

〈特集〉

「JA総合物流」の取り組み

25年度から、地域の営農と生活を守る
「JA総合物流」に取り組んでいます！

5

THE・ねっとわーく

7

統計BOX

8

ふるさと ESSAY VOL.224

台所はみんなの幸せを作る場所

中村 和憲さん

10

TOPIC NEWS

13

なんでもBOX

14

JAふるさと自慢Vol.156「直売所めぐり」

〈総集編 東予Ⅱ〉

～JA周桑・JAおちいまばり・JA今治立花～

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉里芋 (伊予美人)

JA全農えひめ

ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

■JA全農えひめ「えひめの食」企画

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>

※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)

<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめ物流(株)

<http://www.jat-ehime.co.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)

<http://fresh-ranran.jp/>

◆(株)ひめライス

<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)

<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

25年度から、地域の営農と生活を守る 「JA総合物流」に取り組んでいます！

地域では農家組合員の高齢化や組合員のリタイアなどが進んでおり、事業インフラとしての組合員戸別配送・集荷の整備、ライフラインとしての買い物弱者対策が求められています。こうした中で、JA全農えひめとJAでは、25年度から、JA単位での物流整備と広域の物流センターを核とした効率的な運営によって、肥料農薬等の生産資材だけでなく生活資材の戸別配送、米をはじめとした農産物の戸別集荷など、営農と生活を守る「JA総合物流」の取り組みを始めています。

農業のインフラと ライフラインへの 貢献めざす

JA全農えひめは、経済事業改革の一環として物流合理化を進めるため、肥料農薬の広域物流に取り組み、平成15年度の南予物流センターを皮切りに、平成16年度に東予物流センターを設置するとともに、23年度には、東予地区物流センターのサブ

拠点として、JAおちいまばり島嶼部サブセンターを設置しました。こ

の中で、JA全農えひめとJAの協同事業として銘柄集約・予約積み上げと農家戸配送などを進め、物流の協同化・合理化によるメリットの確保・還元に取り組んできました。

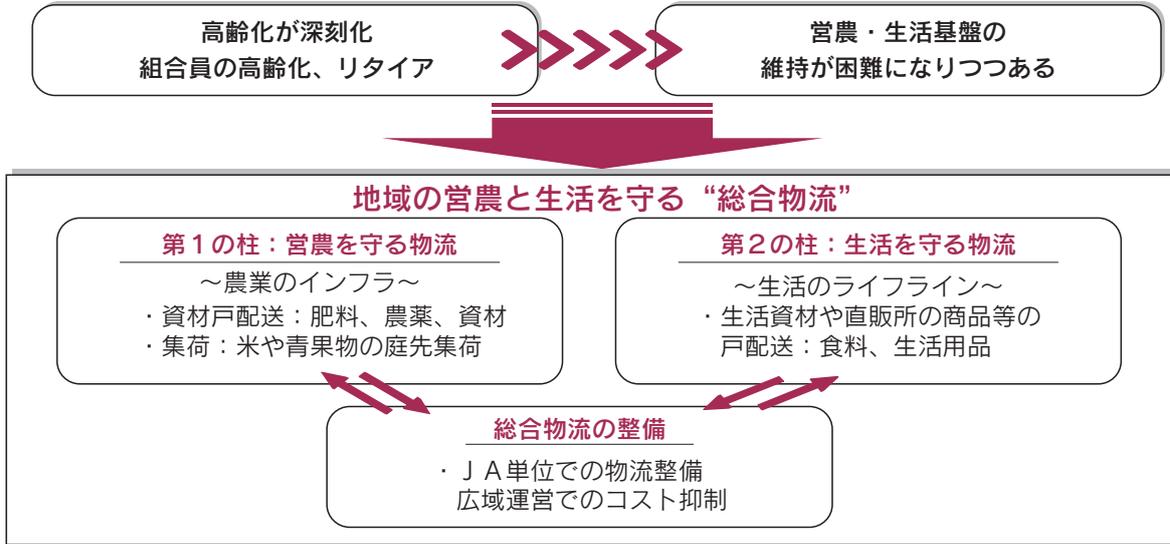
一方、地域では農家組合員の高齢化や組合員のリタイアなどが進んでおり、肥料農薬だけでなく生活資材や農産物の集荷等を含めた効率的な総合物流の整備が課題となってきました。

した。

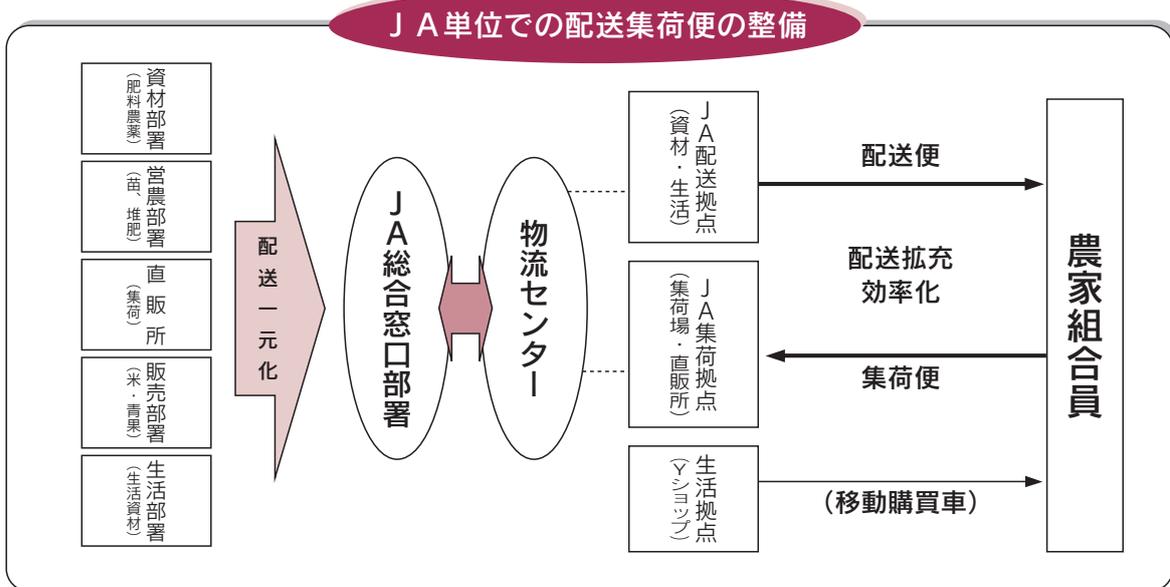
こうした中で、JA全農えひめと県内JAは、組合員の高齢化、リタイアに対応した営農と生活を守る「JA総合物流」の整備指針を平成24年度に策定し、平成25年度から、JA単位で総合物流体制・しくみの整備と、東・南予の物流センターを

拠点とした広域運営によるコスト低減・事業競争力強化を軸として、県内JA、JA物流センターを中心に「JA総合物流」の構築に取り組む

①「JA総物流」の基本方向



②「JA総物流」の仕組みづくり



こととしました。

取り組みにあたっては、まず肥料
農薬のJA拠点への配送から組合員
への戸配送、二番目に米の庭先集荷
など農産物の集荷業務、三番目に生
活品等の買い物弱者対策について順
次進めていきます。

■総物流整備の基本方向

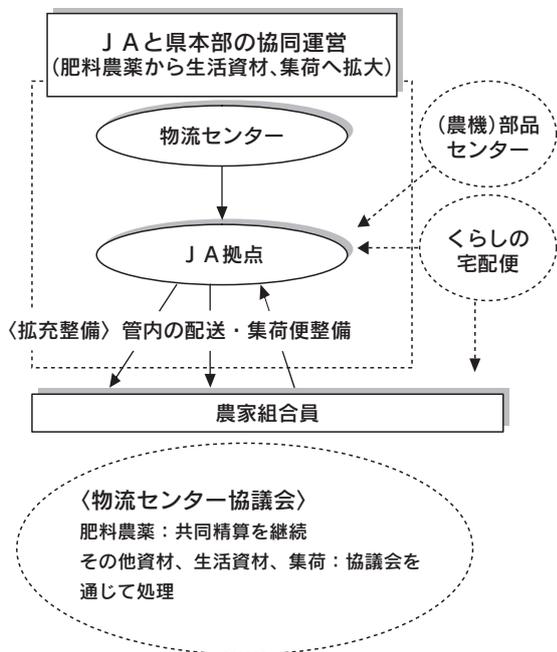
① 営農と生活を守る総合的な組合員
戸配送・集荷便をJA単位に整備
します。なお、配送は物流センター
に委託し、JAと県本部の協同事
業として運営します。

② 物流センターは、取り扱い品目を
肥料農薬だけでなくその他資材、
生活資材や農産物の集荷にまで拡
大します。一方、JA支所再編や
取扱物量の減少が見込まれる肥料
農薬等のJA拠点配送は効率化・
合理化をめざします。

※なお、農機部品とエコープマー
ク品(JAくらしの宅配便)は物
流センターとは別に、全農広域拠
点からJA拠点や農家組合員まで
直送します。

③物流センター広域運営の今後の方向

今後の方向



物流センターを拠点に
米庭先集荷と資材戸配送等
に取り組む
総合的な組合員配送・
集荷の整備

今年度は、東・南予の各物流センターに参加しているJA別にプロジェクト等を設置し、JA全農えひめの支援チームも加わる中で、総合的な組合員戸配送・集荷便の整備に向けた計画策定や具体策の実践を進めています。

当初は3JAの取り組みを計画していましたが、これまでに5JAが参加。それぞれのJAの状況や地域特性を踏まえて取り組み内容はJAごとに異なりますが、物流センターを利用して肥料農薬などの営農資材や生活資材、米の庭先集荷等農産物の集荷などを進めています。

肥料農薬の組合員への戸配送は、JA総合物流に取り組むJAうま・JA周桑・JAおちいまばり島嶼部・JAひがしうわのほか、JAえひめ南で取り組んでいます。

米の庭先集荷については、JAうま・JA周桑に加えて、JA西条とJAおちいまばりで本格的な取り組みが始まりました。

なお、JAうまでは、肥料農薬・生産資材・生活資材の配送、里芋・米・みかんの庭先集荷・配送など「JA総合物流」のモデルとしての取り組みが進んでいます。

また、JA周桑では、総合宅配事業開発プロジェクトを設置し、検討が進められています。

今年度の総括などを踏まえ
さらなる取り組み拡大を！

営農と生活を守る「JA総合物流」

は始まったばかりで、取り組みJAでは組合員・利用者への浸透などそれぞれ課題もありますが、農家組合員への戸別配送による利便性向上、JA拠点の在庫・配送合理化が期待されています。

また、今年から米の庭先集荷に取り組んだJAでは集荷拡大に向けて「米の出荷はJAへ」という意識の醸成と集荷結集に向けた取り組みが期待されます。

こうした米集荷と資材予約の推進を通じたJA利用結集効果をめざしています。

生活資材の戸別配送の取り組みはこれからの課題ですが、弱い弱者対策として重要な取り組みとなっています。

JA全農えひめでは、取り組み5JAの今年度の総括と次年度対策を踏まえ、未取り組みのJAも含めて、地域・JAの要望に応えられるよう物流センターの機能・体制整備を進めることにしています。

また、JA全農えひめ支援チームが各JAのプロジェクト等と連携・協力して物流センターを活用したさらなる取り組み拡大を呼びかけ、地域の期待に応える「営農と生活を守る総合物流」の確立・実践を進めていきます。

THE ねとろわーく

「愛媛みかん消費宣伝キャンペーンを 首都圏・関西地区で展開！」

果実課

J A全農えひめ果実課は、今年も愛媛みかんの本格出荷にあわせ、首都圏と関西地区で「愛媛みかん消費宣伝キャンペーン」を実施しました。

11月5日、愛媛産早生みかんの本格販売と愛媛みかん消費宣伝キャンペーンのスタートにあたり、2013愛媛みかん大使4人とJ A全農えひ



▲中村知事を表敬訪問

めの岡本健治運営委員会会長、諏訪玄県本部長らが、愛媛県庁に中村時広知事を表敬訪問しました。

みかん大使は、「生産者が丹精込めて生産した愛媛の美味しいミカンをも、全国の皆さんに味わってもらえるよう、精一杯PRしてきます」と元氣よくキャンペーンに臨む決意を伝え、愛媛みかんを贈呈。中村知事から「今年の愛媛みかんは、例年以



▲東京・大田市場で初荷セレモニーを開催

上に糖度が高く酸も低いので、高評価が得られると思います。昨年産の（愛媛みかんの）価格は全国平均より1割ほど高かったが、今年には皆さんの力で2割ほど高くなるよう期待しています。消費宣伝活動の先頭に立って頑張ってください」と激励されました。

愛媛みかん消費宣伝キャンペーン

今年の愛媛みかん消費宣伝キャンペーンは、11月3日の「みかんの日」を前に、11月2日の「レインボーフェスティバル」会場で、「オレンジロード」スタートイベントを開催。その後、11月7日～11月11日まで、首都圏と関西地区で、キャンペーン活動を展開しました。



▲愛媛県観光・物産PRイベントで愛媛みかんをしっかりPR

県内早生みかんが出揃った11月7日には、県内主産地とともに東京・大田市場で初荷セレモニーを行い、早生みかんの出荷スタートをアピールしました。また、8日にはJ R有楽町駅前広場特設ステージで行われた愛媛県観光・物産PRイベントに参加、9日には「西銀座」晴海通り側エントランスで、愛媛みかんを約1万人にサンプリング（1人3個を無料配布）。このほか、マスコミ訪問活動や店頭販促活動を精力的に行いました。

J A全農えひめは、4月14日「オレンジデー」を「愛を深める」記念日として定着させ、新たな需要を掘り起こし販売拡大につなげようと、今年も11月3日「みかんの日」から4月14日まで、「オレンジロード」として取り組んでいます。この取り組みは、柑橘の消費拡大に向けて、「愛のシンボル」であるオレンジを、「オレンジデー」までの記念日ごとに季節の旬の柑橘を贈り合うことで、愛を育み深めていく道なのです。今年も、県内J Aと一体となって、温州みかんや次々と旬を迎える愛媛産かんきつの消費拡大と「オレンジデー」の定着に向け、全国に呼びかけていきます。

平成25肥料年度春肥価格が 決定しました。

肥料 農薬課

J A全農は、メーカー各社と交渉を行い、平成25肥料年度春肥（11～5月）の肥料供給価格を決めました。

価格交渉の経過と結果の概要

尿素などの窒素質肥料メーカーから原料のナフサ・L N Gのコストが

上昇しているため、大幅な値上げ要求がありました。また複合肥料メーカーからは、重油、包装資材の値上りなどによる製造諸経費の値上げ要求がありました。

これに対してJ A全農は、秋肥価格の値上げを受けて農家経営状況がますます厳しくなっていることを訴え、窒素質肥料の原料コストと複合

肥料の製造諸経費の値上げ要因について、メーカーの合理化努力で極力吸収することを求めました。また、国産尿素については輸入尿素以上の引き下げを強く求めました。

こうした中で、海外原料については、円安要因はあるものの、直近の弱含みの国際市況を最大限反映し、尿素を3・9%の値下げ、リン安も値下げとしました。しかし、加里質肥料は円安と山元価格値上げの要因があり値上げとなりました。

この結果、平成25肥料年度春肥（11～5月）価格は、表1（品目別決定内容）のとおり決着しました。高度化成一般（オール15）は、前期（25秋肥）対比0・5%の値下げとなったものの、加里質肥料等が値上げとなるため、緩効性高度化成や複合肥料の成分によって値上げとなる銘柄があります。

J A全農の対応

J A全農は、以下の施肥コスト抑制銘柄の開発・普及、および省力型施肥技術の普及に取り組みしており、今後もさらにその取り組みを強化します。

① 土壌分析・診断にもとづく適正施肥の実施

土壌診断にもとづいた適正施肥を強化していくため、「トータルアグリッド事業」の取り組みとして「担い手に対する無償土壌診断」を継続していきます。

② 低成分肥料および四国地区低コスト配合肥料の普及拡大

低成分肥料「しあわせ化成」や四国地区低コスト配合肥料「いざなみ・農援隊」への銘柄集約を進めます。

③ 省力型施肥技術の普及推進

被覆肥料などの肥効調節型肥料による基肥一発肥料や、局部施肥法などの普及拡大に取り組みます。

④ 物流合理化の推進

物流コスト削減を目指し、地区物流センターを核とした新たな総合物流を検討していきます。

⑤ 安価な国内未利用資源の活用

鶏糞燃焼灰等、地域で発生する安価な国内未利用資源を肥料原料とした低コスト肥料の検討を進めます。

⑥ 肥料原料の安定確保

平成25年度は、J A全農が出資した瓮福紫金化工股份有限公司（中国）からJ A全農のリン安輸入量の約20%相当の4万5,000トンを入力し、一層の肥料原料安定確保と調達コストの抑制に努めます。

表1 平成25肥 春肥 価格決定内容

(対農向け価格) (単位: 円/20kg、%)

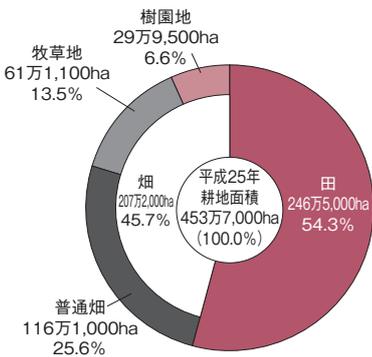
分類	品目	成分	決定内容
			変動率
窒素質	尿素(輸入)	46	▲3.9
	尿素(国産)	46	▲4.5
	硫安(大粒)	21	▲3.7
	硫安(粉)	21	▲4.4
	塩安	25	▲3.9
	石灰窒素	21	0.0
磷酸質	過石	17	▲1.3
	重過石	34	▲1.3
	重焼燐	35	▲1.2
加里質	塩加	60	2.7
	硫加	50	4.5
	珪酸加里	20	0.8
複合肥料	高度化成(一般)	15-15-15	▲0.5
	高度化成(機能・被覆尿素入)	14-14-14	▲0.4
	PKセーブ488	14-8-8	▲0.6
	普通化成	8-8-5	▲1.4
	有機化成	8-8-8-3	0.3

※ J A・農家向け供給価格の変動率とは一致しません。

統計BOX

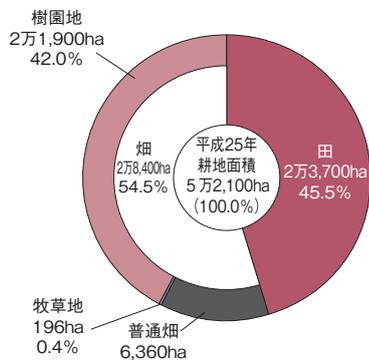
全国の耕地面積は453万7,000ha —平成25年耕地面積（7月15日現在）調査結果の概要から—

図1 耕地種類別面積割合（全国）



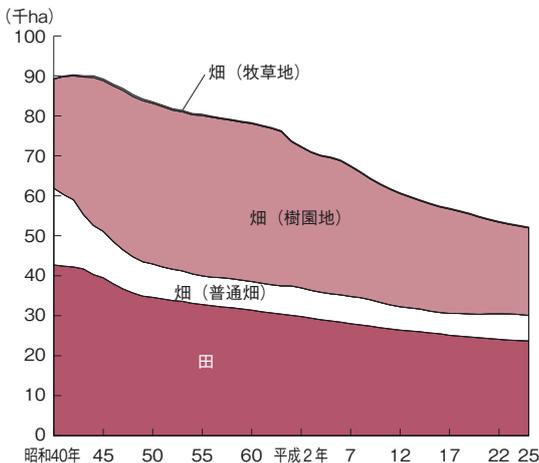
資料：農林水産省統計部『作物統計調査』

図2 耕地種類別面積割合（愛媛県）



資料：農林水産省統計部『作物統計調査』

図3 田・畑種類別耕地面積の推移（愛媛県）



資料：農林水産省統計部『作物統計調査』

愛媛県は田より畑が多く、耕地の4割は樹園地

我が国の耕地面積は、工場用地、道路、宅地等への転用や耕作放棄等によるか廃のため減少傾向にあります。今月は全国及び愛媛県の平成25年耕地面積をみていきます。

平成25年7月15日現在の全国の耕地面積（田畑計）は453万7,000haで、宅地等への転用や耕作放棄により荒地になったこと等により、前年比べて1万2,000ha（0.3%）減少しました。田畑別にみると、田は246万5,000ha、畑は207万2,000haで、前年比べてそれぞれ4,000ha（0.2%）、8,000ha（0.4%）減少しました（図1）。

愛媛県の耕地面積（田畑計）は5万2,100haで、主に耕作放棄により荒地になったこと等から前

昭和50年からの38年間で38%の耕地が減少（愛媛県）

昭和50年から本年までの愛媛県の耕地面積の推移をみると、全体で3万1,400ha（37.6%）減少しました。田畑別にみると、田が1万900ha（31.5%）、畑が2万500ha（41.9%）それぞれ減少しました。また、畑の種類別には、普通畑が1,980ha（23.7%）、樹園地が1万8,300ha（45.5%）に比べて500ha（1.0%）減少しました。

年比べて500ha（1.0%）減少しました。田畑別には、田は2万3,700ha、畑は2万8,400haで、前年比べてそれぞれ100ha（0.4%）、400ha（1.4%）減少しました。また、田畑別にみた面積割合は、田が45.5%、畑が54.5%で、畑の種類別は普通畑が12.2%、樹園地が42.0%、牧草地が0.4%となっています（図2）。

中国四国農政局
松山地域センター農政推進グループ

※統計数値については、四捨五入のため、合計と内訳の計が一致しないことがあります。

農業生産を行っている担い手の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などで、5年後、10年後の展望が描けない集落・地域が増えていきます。そのため、農林水産省では、「人と農地の問題」を解決するため、地域農業のこれからをみんなで話し合っ

て決める「人・農地プラン」の作成を推進しています。「人・農地プラン」に位置づけられることにより、新規就農者対策、農地集積対策等の様々な支援を受けることができます。

5%）、牧草地が165ha（45.7%）それぞれ減少しています（図3）。



台所は みんなの幸せを作る場所

「みんな台所って何を作っているところだと思う？」小学校での講演で子どもたちに尋ねると「ごはんです。」と元気な声が返ってきます。「そうだね。じゃあおいしいものをいただくとき、幸せだと思う人？」全員元気に手が挙がります。「ほら、台所はみんなの幸せを作っている場所だよ。」その瞬間、輝く子どもたちの顔を見ながら毎回私も幸せな気持ちに包まれます。

豊かな時代になって、昔に比べると食べ物私たちがの口に届くまでの物語が見えにくくなりました。都心の小学生に先生が「野菜はどこでできますか？」と尋ねると「スーパーの横の倉庫です。」という答えが返ってきた、という時代。けれどそれも無理もないのかもしれない。ただ、愛媛はその点とても恵まれています。田んぼや畑を身近に見ながら日々の生活を送れることは子どもたちの心を豊かに育んでくれる自然の風景です。日本のこの美しい自然の景観を作ってきたのは農業。初夏の麦畑に感動したり、棚田を

美しいと感じたりする心は、何千年もかけて日本人のDNAに刻まれたものなのでしょう。

一昔前まで「あるもので済ませる」のが日常の食事でした。お米、そして季節ごとの自然の恵みである野菜、果物、魚介類。「日頃が粗食だったので馳走がいただけのお祭りやお正月がととても楽しみだった。」と、ご年配の方々からよくお聞きします。季節の行事、お祝い、おもてなしの食卓に並ぶそんな「材料を走り回って集めた^{イコール}『ご馳走』」にはそれだけでみんなを喜ばせてあげたいという真心が溢れています。食卓に並ぶまでの様々なその物語が人の心に感動を呼び、笑顔が広がり、会話に花が咲き、集うもの全てを心のつながりで結んでくれる。食卓は人の心を繋ぐ場所です。

さて、本来私たちが食べるものは「風土」が決めています。風、土、水、光…その風土で生きていく上で必要な食べ物を用意してくれている、それが自然の偉大さです。「風土」^{イコール}「フード

中村 和憲

KAZUNORI NAKAMURA

料理研究家&食育アドバイザー。愛媛県立松山南高等学校、上智大学を経て地元松山に戻り、当時家業であったキッチン用品の代理店を営む。アフターサービスとして独自に始めた料理教室が評判を呼び、マスコミ取材をきっかけに南海放送の情報番組「レンジの達人」にレギュラーで出演。その後、人気情報番組「おかデリ」の人気料理コーナーなどを通算11年以上担当。TV・ラジオ・イベント出演や料理監修、フードコーディネートを広くこなす。県内外で食育・人権・子育て・男女共同参画などの講演多数。学校や地域の食育活動にも長年にわたり積極的に取り組む。料理のレパートリーは味噌作り等保存食作りまで幅広い。また、作曲家としてミュージカル音楽などにも関わる。「一人ひとりの今、そして未来を輝かせるために」の思いを持って様々な活動に取り組む。

◆社会活動◆

松山市小中学校PTA連合会顧問・松山市立雄新中学校PTA会長。松山市立双葉小学校PTA顧問・松山市青少年育成市民会議副会長・松山市人権啓発講師。愛媛県男女共同参画ロールモデル・公益財団法人愛媛県学校給食会理事。愛媛大学教育学部非常勤講師・子ども未来プロジェクト代表など。



▲子どもたちと味噌作り



（食べ物）。本当は切り離せないもの。先祖代々、こうした伝統食をずっと食べて現代の私たちに命を繋いでくれました。私達人間も自然界の一部であることを思うとき、本来は食文化は急激に変わりすぎてはいけない、必ずどこか心と体に歪がきます。「食事」は「人を良くする事」と書くように、おなかを満たすだけが食事ではありません。心を培うのもまた食事。さらに「健康」という視点からも「伝統食を大切にすること」は体作り、健康の土台作りに

欠かせません。ちなみに坂本竜馬は1日にご飯を7合食べていたそうで、それは限られたおかずでいたただいていたからかもしれません。「ご飯（お米）」をたくさん食べていた昔の方々は本当にお元気でした。米には主食としての素晴らしい生きる力が宿っています。ちなみに欧米では主食、副食という明確な分類はありません。私は20年来味噌を手作りしています。が、糀と塩を混ぜるとき、「ああ、これが『手塩にかける』っていうことな

んだな」と感動し、数ヶ月かかって味噌になるまでの物語を楽しんでいます。学校で小学生の子どもたちと味噌作りをすると歓声があがり、毎年本当に美味しいお味噌が出来上がります。「二汁三菜」これもまた素晴らしい日本文化なのです。

食べ物は全て「命」。私たちは食べ物の命をいただいて自分の命に変えていただいています。子どもたちに「野菜も生きているんだよ」と話すとえっ？という顔をする事もある。「じゃあ、台所で玉ねぎやお芋から芽が出たのを見たことある人？」と尋ねると多くの子どもが手をあげます。「命に溢れているから芽が出るんだよ。野菜がいたんでしまうのも生きているから寿命があるっていうことなんだよ。」と。

私は「言葉を持たないひとつひとつの命あるもの」を誰かが代弁してあげなければ、と思うようになり、私たちの命は命によって支えられていることを伝え続けています。

「いただきます」は命に感謝の言葉。無駄なくおいしくいただきたいですね。一つ一つの食べ物が持つ物語、それを育てる人のストーリー、それらを使って食卓を作る人の物語、そしてただ人々の物語をつないでいくとき、「台所がみんなの幸せを作る場所」なら、農業は「幸せの種を蒔いている」命と文化の源です。

●平成25年産 冬春野菜出荷協議会 共販量は前年比114%・4,943 tを計画

J A全農えひめ野菜花卉課は、11月12日、平成25年産冬春野菜出荷協議会を開き、レタス・冬春きゅうり・いちごなど主力7品目の販売基本方針を決めました。

栽培面積は、加工業務用を中心に前年比159%となったキャベツなど4品目が前年を上回り、全体では前年比103%の208.4haを見込んでいます。共販量は、全体では4,943 t（前年比114%）を見込んでいます。

なお、市場からは、各品目とも、栽培面積・出荷量の拡大と期間を通じた安定出荷、適期収穫、的確な産地情報の発信、J A・個人間の品質格差是正などの要望が出されました。

販売基本方針では、①企画販売等多元的販売の強化、②消費宣伝活動の強化、③安全・安心への取り組みをあげています。

多元的販売強化では、市場流通を基本にパートナー市場と連携をさらに強化し、量販店等実需者販売、惣菜・外食等の加工・業務販売など販売ルート拡充により、長期安定単価の確保

平成25年産 冬春野菜出荷計画 (単位: ha、トン、%)

品目	平成25年産出荷計画		前年比 (%)	
	面積	共販量	面積	共販量
ブロッコリー	56.6	374.5	111	115
白ねぎ	16.1	243.8	106	113
レタス	47.3	1,184.8	105	120
冬春きゅうり	21.0	1,270.1	95	103
いちご	31.9	1,134.0	96	104
ほうれんそう	19.1	146.9	74	91
キャベツ	16.4	588.9	159	186
合計	208.4	4,943.0	103	114

をめざします。加工業務用キャベツは新規販路拡大を図ります。厳寒期の不安定な出荷が予想される中、愛媛チームとしてロットを確保し、販売先を見据えた分荷・販売を行います。品目別に「目標単価」を設定し、企画販売比率の向上により有利販売をめざします。今年産企画販売計画は、冬春野菜販売全体の9% = 1億9,087万円(38企画)です。

●紅まどんな選果目あわせ会 品質重視の出荷で「紅まどんな」ブランド確立を!

J A全農えひめ果実課は、11月7日、松山市のJ Aえひめ中央平田経済センターで「紅まどんな選果目あわせ会」を開きました。

「紅まどんな」は、商標権をJ A全農が所有。愛媛県で育成された品種「愛媛果試第28号」の中で、糖度・酸などJ A全農えひめの定める品質基準をクリアし、県内J Aが出荷するものに限り商標使用を認めています。12月の贈答用商品として高い評価を受け、年々浸透していますが、品質重視による「味本位」の高級果実としてブランドを維持するため = 品格・価格に見合った商品を提供していくため、昨年に続き目

あわせ会を開きました。

目合わせ会では、J Aの販売・選果担当者らに、出荷要領と選果基準を具体的に説明し、基準の遵守・徹底を呼びかけました。

25年産紅まどんなは、面積が前年比127%の143.4ha、生産量は前年比134%の1,225トンを見込んでいます。



●J A石碑大展示予約会 目標・前年を上回る実績でした

J A全農えひめ生活資材課と県内J Aは、12月末まで『秋期石碑予約推進キャンペーン』を実施しています。こうした中、11月15日～17日の3日間、見比べて納得して購入していただくこと、今年も松山市石手寺前の(株)イフイ本社特設会場で「J A石碑大展示予約会」を開きました。

会場では、良質で厳選された「大島石」など各種石碑を豊富に取り揃えた他、完成時の形がイメージできるよう納骨舞台を含めたセット墓、特別価格品や現品奉仕品、お買い得な墓石

と仏壇のセット品、来場記念品やご成約プレゼントなどを設定して展示販売しました。展示会期間中は、県内各地から来場があり、目標・前年実績を上回る95件・1億1,766万円の実績をあげました。



●平成25年度早生みかん果実コンクール 県知事賞に西川正則さん（JAにしゅうわ）

JA全農えひめと愛媛県果樹研究同志会・愛媛県女性果樹同志会は、平成25年度「早生みかん果実コンクール」を開催しました。

県内から89点の出品があり、果実の外観と糖・酸のバランス等を基準に審査の結果、愛媛県知事賞に西川正則さん（JAにしゅうわ）が決まりました。その他の入賞者は次の皆さんです（カッコ内はJA名・敬称略）。

◇全農愛媛県本部長賞＝渡部正義（おちいまばり）◇愛媛県果樹研究同志会長賞＝稲垣憲定（にしゅうわ）◇愛媛県女性果樹同志会長賞＝松下定彦（えひめ南）◇優良賞＝西川晴喜（えひめ南）、広瀬文洋（同）、山本薫（愛媛たいき）、宇都宮

治忠（にしゅうわ）、松田治（同）

なお、入賞果実9点の果実は、糖度がすべて12度以上、平均糖度13度、クエン酸0.9と食味良好でした。

入賞・出品果実は、10月24日、「みかん研究所参観デー」会場で展示しました。



▲県知事賞を受賞した西川さんの「宮川早生」

●平成25年産 冬春花き出荷協議会 安定供給と需要に対応できる出荷体制めざす

JA全農えひめ野菜花卉課は、11月18日、冬春花き出荷協議会を開き、夏秋期品目の販売報告と冬春期品目の出荷計画・販売方針を協議しました。

夏秋期のシンテッポウユリは数量が前年比74%の61万8,449本、単価が前年比104%の82円。夏秋期品目全体では数量前年比89%、単価前年比100%、金額は前年比89%でした。

冬春品目（11月～5月）は、オリエンタルユリが50万2,500本、デルフィニウムは前年並みの28万7,500本の販売を計画。

販売基本方針では、産地間の連携強化による拠点市場への長期継続出荷体制の強化と需要期

平成25年産 冬春花き主要品目出荷計画（単位：a、本、%）

品目	平成25年産出荷計画		前年比（%）	
	面積	共販量	面積	共販量
オリエンタルユリ	347	502,500	87	102
デルフィニウム	146	287,500	96	100
ユーカーリ	1,728	594,600	100	88

の数量確保・注文対応、品質向上・均一化に向けた取り組み強化、市場・花店ニーズに合った出荷形態の推進、イベント等を通じたPR活動強化によるブランド強化・地位確立、などに取り組めます。

●第5回「子ども野菜の絵コンクール表彰式」 年長部門金賞に岡本彩希ちゃん

伊予市下吾川のJAえひめアイパックス(株)ファーマーズマーケットいよっこらは、10月20日、第5回「子ども野菜の絵コンクール表彰式」を開き、年長部門で金賞を受賞した岡本彩希ちゃん（＝写真・からたち幼稚園）など入賞者全員に賞状と肉・野菜の詰め合わせを贈って表彰しました。

なお、出品作品は、11月19日～20日の「いよっこら秋の大収穫祭」から11月10日まで展示されました。



▲かぼちゃを描いて金賞を受賞した岡本彩希ちゃん

●JAグリーンえひめ収穫祭

芋掘り体験など「収穫祭」で交流深める

東温市の農産物直売所「JAグリーンえひめ」は、10月25日～10月27日の3日間、「秋の収穫祭」を開催しました。

期間中は、10月26日に先着30組の親子を対象に「芋掘り無料体験会」、出荷会員の皆さんが店頭でとれたてサツマイモの「ふかし芋販売」や「芋炊きのお接待」など日替わりで多彩なイベントを行ったほか、お買い得企画商品が人気を集めました。「ひめとん」（『ふれ愛・媛ポーク』キャラクター）、「ひめ丸」（伊予牛「絹の味」キャラクター）などの着ぐるみも登場してイベ

ントを盛り上げ、期間中は生産者と消費者の交流を深めました。

収穫祭とは別に、今年も東温市の南吉井保育所の園児36人が10月30日に芋掘り体験を楽しみました。



▲収穫祭で「大きい芋がとれた」と歓声！

●第52回愛媛県肉畜見本市共励会

最優秀賞首席は大塚久寿さん（JAにしうわ）

JA全農えひめ畜産部は、11月7日、神戸市中央卸売市場西部市場で、第52回愛媛県肉畜見本市共励会を開きました。

31頭の黒毛和種が出品され、最優秀賞首席には大塚久寿さん（JAにしうわ）の出品牛が選ばれました。

今回の格付成績は、5等級と4等級以上が29頭で全体の93.5%を占め、そのうち月齢28ヶ月以上で日本格付協会が示す規格A・B4等級でBMSNo.7番以上の神戸市場限定出荷「愛」ブランドが17頭出るなど好成績をおさめました。セリでは、平均kg単価2,093円で前年を225円上

回りました。

その他の共励会受賞者は次の皆さんです（敬称略・カッコ内はJA名）。▽最優秀賞次席＝仙波行利（新居浜市）▽優秀賞首席＝宮本正義（にしうわ）▽同次席＝桜田咲盛（愛媛たいき）▽同3席＝山内荘陸（ひがしうわ）



●ひめライス50周年記念新米プレミアムキャンペーン抽選会

当選者700人選ぶ！

㈱ひめライスは、11月11日、「ひめライス50周年記念新米プレミアムキャンペーン」抽選会を行い、山本健吾社長らが1万5,043通の応募の中から当選者700人を選びました。

キャンペーン期間中は、テレビCM放映や店頭ポスター掲示、新米コーナー設置や試食宣伝活動を通じて愛媛の新米シーズン到来をPRし、県内産米の消費拡大とブランド力強化に取り組みました。応募者からは、「50周年おめでとう。

ずっとひめライスです」「地域の食材が一番安心できる」「県外の息子に送っています」などの声が多く寄せられました。



なんでもBOX

●第22回愛媛農林水産賞 JAおちいまばりが優秀賞受賞

愛媛県の農林水産業の振興や発展に功績のあった個人・団体を表彰する『第22回愛媛農林水産賞』の表彰式が、10月23日松山市の愛媛新聞社で行われ、JAおちいまばりが優秀賞を受賞しました。

同JAは、「はれひめ」の産地化に取り組み、「瀬戸の晴れ姫」と名付けてブランド化を展開。マルチ栽培の推進など高品質果実安定生産に努めるとともに、糖度12度以上のブランド品質基準を設けるなど市場が求める高品質果実の出荷体制を構築。青果以外にジュースやゼリーなど加工品にも統一ブランドデザインを使用するなど、ブランド化の取り組みが高く評価されました。



▲優秀賞受賞のJAおちいまばり関係者（中央＝黒川俊継代表理事）

JAえひめフレッシュフーズ(株)松山GPセンターが 10月29日、県HACCPに認証!

JAえひめフレッシュフーズ(株)松山GPセンター（本社＝松前町）が、10月29日、食の安全・安心を確保するため設けられている愛媛県食品自主衛生管理認証制度（県HACCP〈ハサップ〉）に認証されました。鶏卵個別包装施設では認証

第1号です。

県HACCPは、食品への異物混入や食中毒など防止のため、施設の衛生管理・保守点検、従業員の衛生教育等の管理手法が一定水準以上の施設を愛媛県が認証するものです。

●えひめスイーツコンテスト2013 県内産かんきつ等を使ったスイーツが勢ぞろい

愛媛県産農産物を使った新たな「えひめスイーツ」を創出する「えひめスイーツコンテスト2013」（主催：えひめ愛フード推進機構・愛媛新聞グループ、共催：JA全農えひめ）の最終審査が、10月24日に行われました。

コンテストは、プロ部門（生菓子部門39件・お土産スイーツ部門30件）69件、アマチュア部門34件、学生部門150件の応募があり、最終審査は書類審査を通過した各部門7～8点を審査員が試食・審査の結果、各賞が決まりました。プロの生菓子部門は、山下比登美さん（パティスリーミカンカフェ）の「アグリユーム～愛媛の恵み～」が、グランプリに輝きました。なお、



▲「アグリユーム～愛媛の恵み～」

今回は5周年特別企画として、アマチュア部門・学生部門の優秀作品が商品化される予定です。

今春1.6倍の広さにリニューアルし、農産物から加工品、精肉、鮮魚まで扱う「周ちゃん広場」。幅2mの広々とした通路に、隅々まで見渡せるレイアウトで、ゆったりと買い物を楽しめます。JA周桑管内は県内屈指の農業地帯、加えて古くからの柿産地。贈答用の柿をはじめ、新春には完熟のイチゴ「紅ほっぺ」が登場し、アムスメロンが初夏を告げ、アスパラガスが通年出荷と、140個の平台に1,000人を超える出荷者の四季折々の豊かな農産物が山積みです。夏には地元の特産品をたくさん使った周ちゃんオリジナルのミートソースが新発売され、そのレトロな味わいに人気急上昇中です。植木や花木、野菜苗、盆栽などは増築した別棟の「お花売場」へ。

買い物途中のひと休みは新設のカフェで。地元の特産品を使ったスイーツが人気です。

周ちゃん広場 ~JA周桑~



インフォメーション

- Tel / 0898-76-2022
- 住 / 西条市丹原町池田290
- 営 / 9:00 ~ 17:30
- URL / <http://www.ja-syuso.or.jp/syuchan/>
- 休 / 1月1~4日
- その他の店舗 / 田野女性部ふれあい直販所



▲見通しがきく店内



▲手前は増築の「お花売場」



◀カレーの野菜も地元産



【広域map】



▲カフェ



▲周桑平野を代表するあたご柿と、横野柿

さいさいきて屋 ～JAおちいまばり～



インフォメーション

- Tel/0898-33-3131
- 営/9:00～19:00 (1～3月は18:00)
- 休/1月1～3日
- 住/今治市中寺279-1
- URL / http://www.ja-ochiima.or.jp/
- その他の店舗/彩菜 今治店 (Aコープ いまばり愛彩店内)、こうてや (Aコープ おおにしアシスタ内)、旬の市 (Aコープ 波方店内)、しんせん市場 (Aコープ 吉海店内)



▲「SAI SAI CAFE」では生でもおいしい厳選フルーツがこんなにぜいたくなケーキに！



▲店内風景。冬場は柑橘色に染まる



▲キュウリだけでもこのボリューム



▲「彩菜食堂」のメニューカウンター

▶夏場におすすめの「はれひめ」の加工品セット。「はれひめ」は爽やかな甘さと、まるやかな食感が特徴のしまなみ育ちの愛媛みかん。高糖度などの基準値をクリアしたものはブランド「瀬戸の晴れ姫」として販売している



くれます。食の世界へと誘って食べてうれしい、豊かな食の世界へと誘って

JAおちいまばり管内の島あり、山あり、平野ありの広くて豊かな大地の実りが一堂に集う「さいさいきて屋」の売り場面積約1,900㎡には品目ごとにまとめられた季節の野菜がてんこ盛りです。農産物以外の精肉、鮮魚類も地元今治産にこだわっています。お客様に安心で安全な農畜産物を提供することにとどまらず、出荷者である生産者に利益を還元していくことをとても大切に考えています。規格外や売れ残りも活用しようとして、食料やキッチンスタジオでは新たな「食」を提案、開発しています。「SAI SAI CAFE」ではインパクトのあるフルーツケーキにくぎづけになります。旬の食材が見事に調理されたセルフ食堂「彩菜食堂」のバラエティあふれるメニューにも目を見張ります。買って楽しい、食べてうれしい、豊かな食の世界へと誘って

立花元気市 郷店 ～JA今治立花～



インフォメーション

- Tel/0898-32-2355
- 営/9:00～20:00
- 休/1月1～2日
- 住/今治市郷本町1-2-15 JA今治立花くみあいマーケット郷店内
- その他の店舗/立花元気市鳥生店 (JA今治立花くみあいマーケット鳥生店内)



▲緑の旗が目印「立花元気市」

高品質なレンコンです。土つきなのは鮮度を長持ちさせる工夫です。地元愛をいっぱい詰め込んだ「鳥生れんこん焼酎 卯三郎」も販売しています。



▲レンコンは美容と健康と長寿にもおすすめ

今治市立花地区は今治市の市街地で、家屋や商業施設が立ち並ぶ中に畑が共存する興味深い地域です。そんなJA今治立花管内の熱意ある生産者に支えられている「立花元気市」は園地と直売所の距離が殊更に近く、とれたての元気な野菜が並びます。冬場は白芽、赤芽の各種里芋をはじめとする鍋料理におすすめの野菜もひと揃い。なかでも特筆すべきは「鳥生れんこん」です。約100年の歴史を誇る色が白くて、甘みと粘りとシャキッとした食感の、日持ちのする



▲「鳥生れんこん焼酎 卯三郎」はレンコン特有のほのかな甘い香りとさっぱり味



●10月号の特集「ひめライスの取り組み」では、お米に対する情勢変化やひめライス50年の歴史、今後の取り組み等がわかり勉強になりました。そして、「ひめライス」に愛着が湧いてきました。

あるクイズでゲットした1枚の、お米1kg引換券。1kgという小袋はこのスーパーにもなくて、半ばあきらめていました。ところが、以前にはなかったスーパーにあったのです。ひめライス新米コシヒカリの無洗米です。5年間もそのままになっていた引換券がやっと目の前に見ることができました。

(西条市・松木 さとみさん)

●「ひめライス」の販売拡大・強化をめざす心意気は評価しますが、政府は近い将来、減反政策を中止すると発表しました。それにはどのような対応するのでしょうか？

(伊方町・中村 博道さん)

●統計BOXを読んで。新規就農者は年々減少傾向にあるようで、今後の農業のことを考えると、不安な結果です。私も勤めているのはJAですが、家が非農家なので土地も知識もありません。私のような人は、新しく始めるとなると、より手厚いサポートがなければ、なかなか続けることも難しいと思います。

(松山市・中平 寛子さん)

●ふるさとエッセー「ワクワキドキ第二の人生」を読み終えるや、何かほほえましく、「よくやる、すごい」と独り言を言いながら、あまりにもよく似た私のような方もいるものなんだ。私も昔は8年間庄内小学校に勤務し楽しんで子どもたちと過ごし、退職後はバイトで測量の仕事をしたり会社や自然相手の農園に勤めながら日曜日は主人の仕事を手伝ったり。農園で得たことは「周ちゃん広場」の出荷を楽しんだり、家庭に入っても大変いい勉強になりました。お芋さんが今年は上手にできました。何度も孫たちに送ってあげました。焼き芋にすると日本一おいしいそうです。「やっぱりおばあちゃん

長年よく勉強しているから上手ですね」と孫たちにいつもほめられ、また調子に乗って「次は何を作って送ろうか」なんて考えながらいつも楽しく農業に励んでいます。

(西条市・高橋 千代美さん)

●河上たずみさんのエッセーを読んで、意欲的に農業に取り組んでいることを知りました。「生きがい」、素晴らしいやりがいを見つけ頑張られている様子を見ることができました。

(入治市・渡部 愛子さん)

●毎年楽しみにしているレインボーフェスティバルに今年もでかけました。いろいろな店が出ていて、ミカンや柿、お餅もできたので、たくさん買って帰りました。大勢の人で友達もびっくりしてました。お天気も良く、農家直送でみなさんとても喜んでおられました。来年も楽しみにしております。

(松山市・武智 セツ子さん)

●いつも楽しくワクワクしながらリーダーズ通信を一番に読ませてもらっています。私も切手代のいらぬハガキがあつてラッキーです。いつも近藤明美さんのやさしいタッチの言葉に心が和みます。家庭愛がひしひしと伝わってきます。通信での出会いを楽しみにしています。お互いにみなさん元気で過ごしたいです。

(西条市・白木 泰子さん)

●大好きな西条祭りも終わりました。お米の収穫が終わって一息ついたところで、秋祭りがやってくる。この時こそ、若者も、壮年も老人も一緒にあって、「ヨイトサッ、ヨイトサッ」と声をかけながら祝う行事で、1年を通じて交流の場として最高の日、幸福な日。この気持ちをこれから農作業につなげていきたいです。イチゴ栽培に毎日頑張っていると思います。

(西条市・近藤 明美さん)

今月のクイズ

JA全農えひめでは、今年も11月3日から4月14日まで「愛のオレンジロード」の取り組みを進めています。11月3日と12月3日は何の日でしょうか？

1000611

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。

応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

平成26年1月16日(当日消印有効)

発表

「あぐり〜ど」2月号で発表します。

当選者発表

10月号の答えは「POMボンオ・レ」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10の方に図書カード1,000円分をお送りします。

- 阿部 徳子さん(今治市) 橋本 基次さん(伊方町)
- 松尾 紀子さん(西条市) 井上久仁子さん(四国中央市)
- 竹田 真彦さん(松山市) 渡部 奏美さん(松山市)
- 越智小夜奈さん(西条市) 国安 裕子さん(八幡浜市)
- 村越久美子さん(今治市) 竹中由香里さん(西条市)

編集後記

★農の風景では、「はじめてのみかんむき」を紹介しましたが、東京・大阪地区限定ではありませんが、毎年約2万人の幼稚園児に愛媛みかんを配り、今年で11年目。単純計算で約22万人が「みかんむき」を経験し、「愛媛みかん」の名前と美味しさを感じてくれているわけでもなく、決してふれんわイベントではありませんが、動も支えていきました。「愛媛みかん」を支えている人たちの活動が、愛媛県内でもなく、決してふれんわイベントではありませんが、動も支えていきました。「愛媛みかん」を支えている人たちの活動が、愛媛県内でもなく、決してふれんわイベントではありませんが、動も支えていきました。

(正直)



NOW NOW

COOKING

今月の素材

里芋(伊予美人)



きめの細かい白いお肌で、粘りは強く、
ホクホク甘い、それは素敵なお美人さん!

▶(左) ジャーマン里芋、(後方) 里芋の味噌炒め、(右) 里芋ご飯



指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大西 望先生

ジャーマン里芋

〈材料・4人分〉	※1人あたり約148kcal
里芋	400g
タマネギ	1/2個
ベーコン	2枚
ニンニク	1カケ
サラダ油	大さじ1
バター	小さじ2
塩	少々
コショウ	少々
パセリ	少々

〈作り方〉

- ① 里芋は皮をむき、5mmくらいの輪切りにして水にさらす。
- ② ニンニクとタマネギはスライス、ベーコンは1cm幅、パセリはみじん切りにする。
- ③ フライパンにサラダ油とニンニクを入れて、弱火にかけ、ゆっくりと炒めて油にニンニクの香りをうつし、里芋を加えて蓋をする。
- ④ ③の里芋に火が通れば、タマネギとベーコンを加えて炒め、仕上げにバターを入れ、塩・コショウで味を調える。
- ⑤ 皿に盛り、パセリを散らす。

里芋の味噌炒め

〈材料・4人分〉	※1人あたり約300kcal
里芋	400g
豚バラ肉(スライス)	200g
味噌	大さじ3
④ 砂糖	大さじ2
④ ダシ	大さじ3
大葉	適量
紅生姜	適量
白ゴマ	適量
油	少々

〈作り方〉

- ① 里芋は皮をむいてくし型に切り、耐熱皿に並べてレンジ(600Wで5分)にかける。豚バラ肉は4cm幅に切る。
- ② フライパンに油を熱し、豚バラ肉を炒め、里芋を加えて炒め、④を合わせて加え、ゆすりながら絡める。
- ③ 皿に盛り、千切りにした大葉と、紅生姜、ゴマを散らす。

里芋ご飯

〈材料・6人分〉	※1人あたり約225kcal
里芋	小6個(約300g)
ツナ	1缶(70g)
米	2合
水	450cc
塩	小さじ1/2
薄口醤油	大さじ1
青ネギ	1本

〈作り方〉

- ① 米は洗って水を切っておく。
- ② 里芋は皮をむき、1.5cmの角切りにする。
- ③ 炊飯器に①と②とツナと分量の水、調味料を入れて炊く。
- ④ 炊き上がれば、ひと混ぜする。
- ⑤ 茶碗によそい、小口切りにしたネギを盛る。

今年の“旬”はひと味ちがう!

毎年大人気の「愛媛みかん旬」が、今年はさらにこだわりを詰め込んだ「完熟愛媛みかんの旬搾り」になって新登場! 完熟した愛媛県産うんしゅうみかんのみを使用したストレート果汁100%のジュースです。例年の「旬」よりも、皿に美味しさにこだわった「旬搾り」。ぜひ完熟の美味しさを味わってみてください。

POM 完熟
愛媛みかんの旬搾り
1Lビン/6本入
3,150 円(税込)

通販
限定

3,000
セット
限定

期間
限定

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

<http://www.ehime-inryo.co.jp>
(通販専用) <http://www.pom-j.com>

おかげさまで50周年
これからも食の笑顔のために
50
Anniversary

これまでも、これからも
"感謝"の気持ちを大切に。



あらうまい!de
Very Very THANKS
キャンペーン



合計**500名**様に当たる!

キャンペーン応募期間 平成25年12月23日(月) ▶ 平成26年2月28日(金)

愛媛県産 **うまいもの+あらうまい!でめちゃうまい!**

Aコース 2kg分以上
1口で応募

伊予牛「絹の味」で
贅沢バーベキュー

20名様

**伊予牛「絹の味」
焼き肉用ロース(約600g)**

厳選された子牛を、愛媛の生産農家が高い飼育技術で仕上げる、伊予牛「絹の味」。安心・安全の食材を使った贅沢バーベキューをお楽しみください。

Bコース 2kg分以上
1口で応募

ふれ愛・媛ポークで
ヘルシーしゃぶしゃぶ

20名様

**ふれ愛・媛ポーク
しゃぶしゃぶ用ロース(約600g)**

ミカンの成分を配合した独自の調味料で育て、徹底した飼育管理のもと、肉質のすぐれた親豚を厳選した「ふれ愛・媛ポーク」。旨みをシンプルに味わえるしゃぶしゃぶどうぞ。

Cコース 2kg分以上
1口で応募

宇和海の新鮮な鯛で
簡単ぶっかけ

20名様

**宇和島鯛めし
セット(4人前)**

スライスした生の鯛の身を、ダシに絡ませて、温かいご飯に掛けて食べる宇和島独特の郷土料理です。

鯛スライス(生刺).....60g×4 きざみ海苔、白マヨ、わさび
タレ.....90g×4 あらうまい!.....2kg
青トサカ、赤海苔.....10g×4

50周年特別コース 5kg分以上
1口で応募

「あらうまい!」を
もっとおいしく

5名様

全面発熱IH炊飯ジャー
パナソニック SR-HB103(5.5合炊き)

「全面発熱4段IH」で「ダイヤモンド銅釜(全面打ち出し)」でふっくら銀シャリを実現した炊飯器です。さらに「電気代目安表示」搭載で炊飯、保温にかかった電気代を表示します。また、「カレールーコース」/「冷凍用ごはんコース」搭載で用途にあわせて楽しめます。

※写真にはイメージや調理例が一部含まれています。※賞品は写真と色、デザイン等が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Wチャンス

435名様

さらにはずれた方の中から抽選で
**無洗米あらうまい!
愛媛県産コシヒカリ
(2kg)
プレゼント!**

〈応募方法〉
ひめライス無洗米「あらうまい」の米袋裏面左上に付いている「ひめマーク」を切り取り、A・B・Cコースは2kg分以上 1枚一口(もち米1.4kgなら 1枚一口)、50周年特別コースは5kg分以上 1枚一口(もち米1.4kgなら 3枚一口)としてご応募ください。応募ハガキまたは郵便ハガキに、ご希望の賞品コース(「Aコース」「Bコース」「Cコース」「50周年特別コース」のうち1つを選択)、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、購入店、ひめライスに対するご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。
※お一人様何口でもご応募いただけますが、一週につき一口とさせていただきます。

〈対象商品〉
ひめライス無洗米全商品(もち米は含む)

〈当選発表〉
厳正なる抽選の上、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

〈お問い合わせ先〉(2014年3月31日まで)
TEL.089-960-3331 受付時間/10:00~17:00
※土・日・祝日・年末年始(2013年12月29日~2014年1月5日)を除く

〈応募締切〉
2014年2月28日(金)当日消印有効

〈応募先〉
〒791-3163 伊予郡松前町大字徳丸字五屋敷771-25
株式会社 ひめライス あらうまい!de
Very Very THANKSキャンペーン係

米袋裏面左上の「ひめマーク」を切り取って送ってね!

キャンペーン内容はホームページからもご覧いただけます。 ひめライス

http://www.himerice.jp/



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

この冊子は再生紙を使用しています。